



SaaS版 蔵Pack

Ver 1.0

株式会社インフォメーションプロセッシングリサーチ

SaaS版WMSについて



- SaaS版WMSは従来のクライアントサーバタイプのWMS仕様をそのまま、サーバをデータセンターに設置、クライアントはお客様のインターネット環境のPCを使用してお使い頂けます。
- 今までの実績より、WMSは、核となる基本部分はあまり変わらないのですが、お客様毎に異なる仕様があり、そのままのご使用が殆どありません。従って、お客様の仕様に合わせカスタマイズしたシステムをサーバに組込ことを基本としています。
- お客様単位に構築され、複数拠点でのご利用に適しています。拠点の新設にも即、対応出来ます。(お客様に割り当てられたURLにアクセスして利用できます。)

SaaS版のメリット



■ 導入費が安価

データセンターに設置されたサーバを利用することで、お客様はサーバ設備をご用意する必要が無い為、導入コストが大幅に軽減されます。

■ ハードの保守費不要

サーバの保守は、データセンター側で行う為、お客様の保守費は発生しません。
(サーバ以外は別途)

■ 安定したシステム運用

データセンター設置で機器の信頼性が高く安定したシステム運用が可能

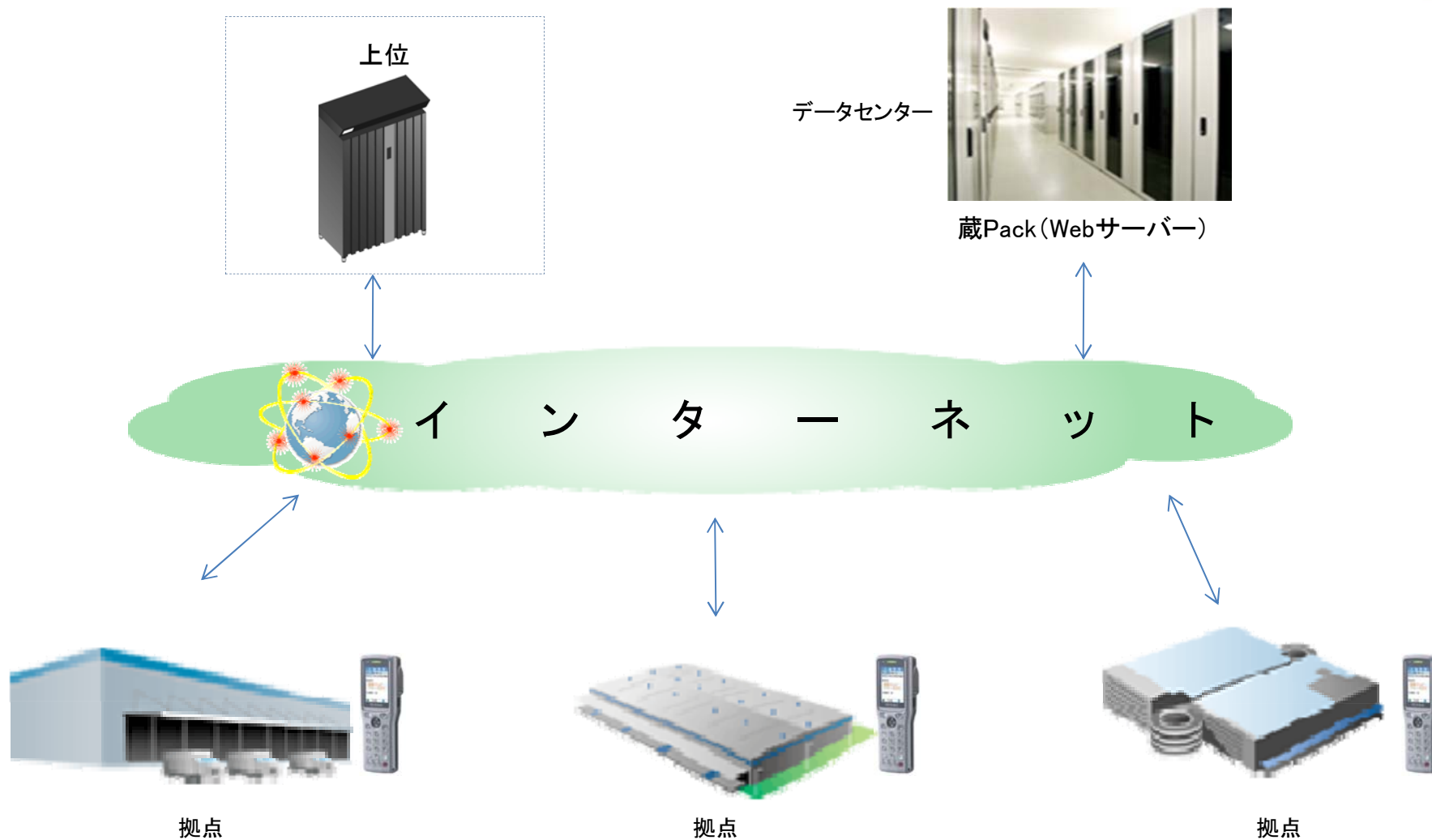
■ IT要員不要でシステム運用

お客様側では特別IT要員を必要とせず、システム運用が可能

■ セキュリティが万全

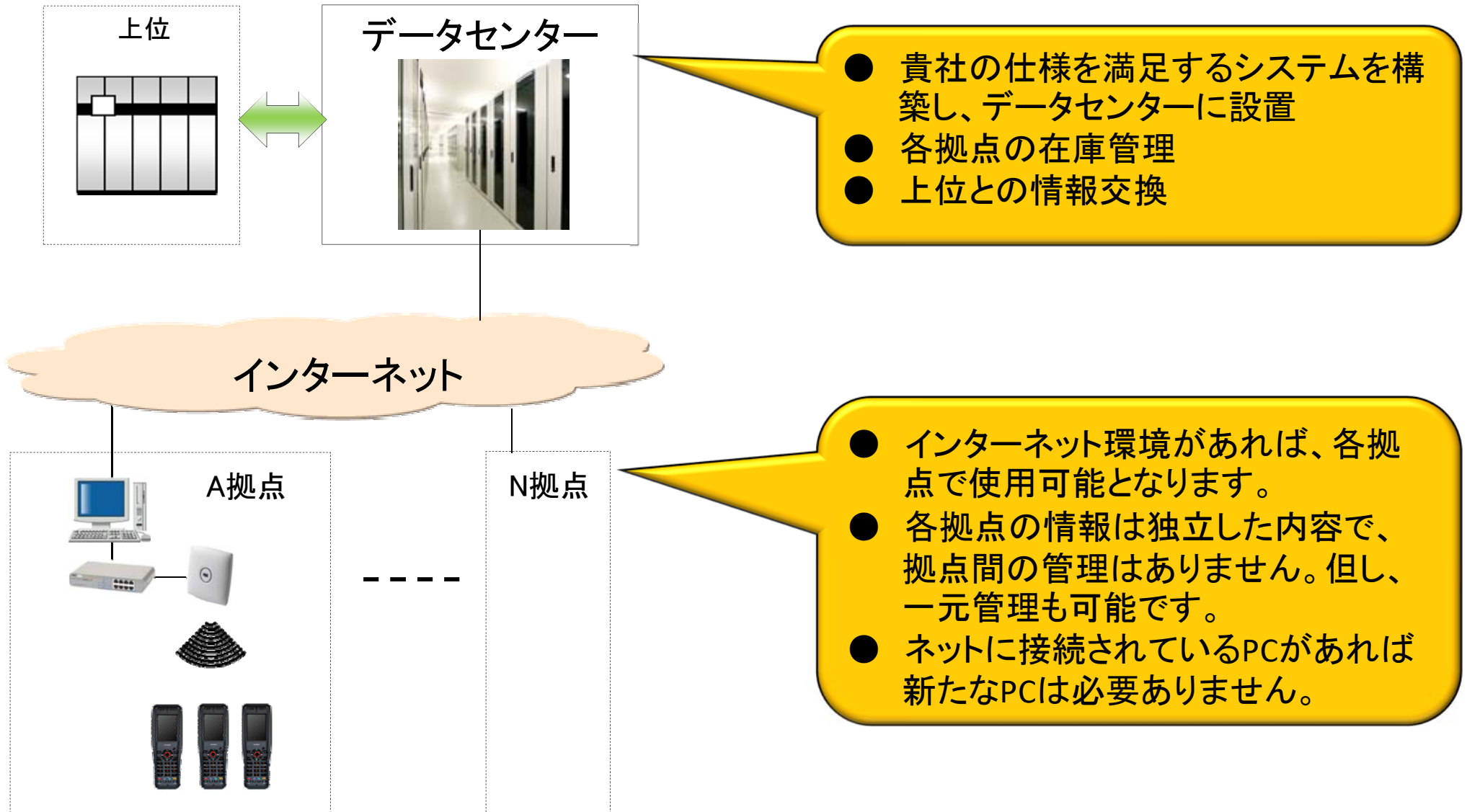
専用サーバを使用し、通信の暗号化を行っている為、セキュリティが万全です。

■ 構成イメージ



各拠点では、インターネット環境があればWMS機能を使用することができます。(HTは別途必要です。)

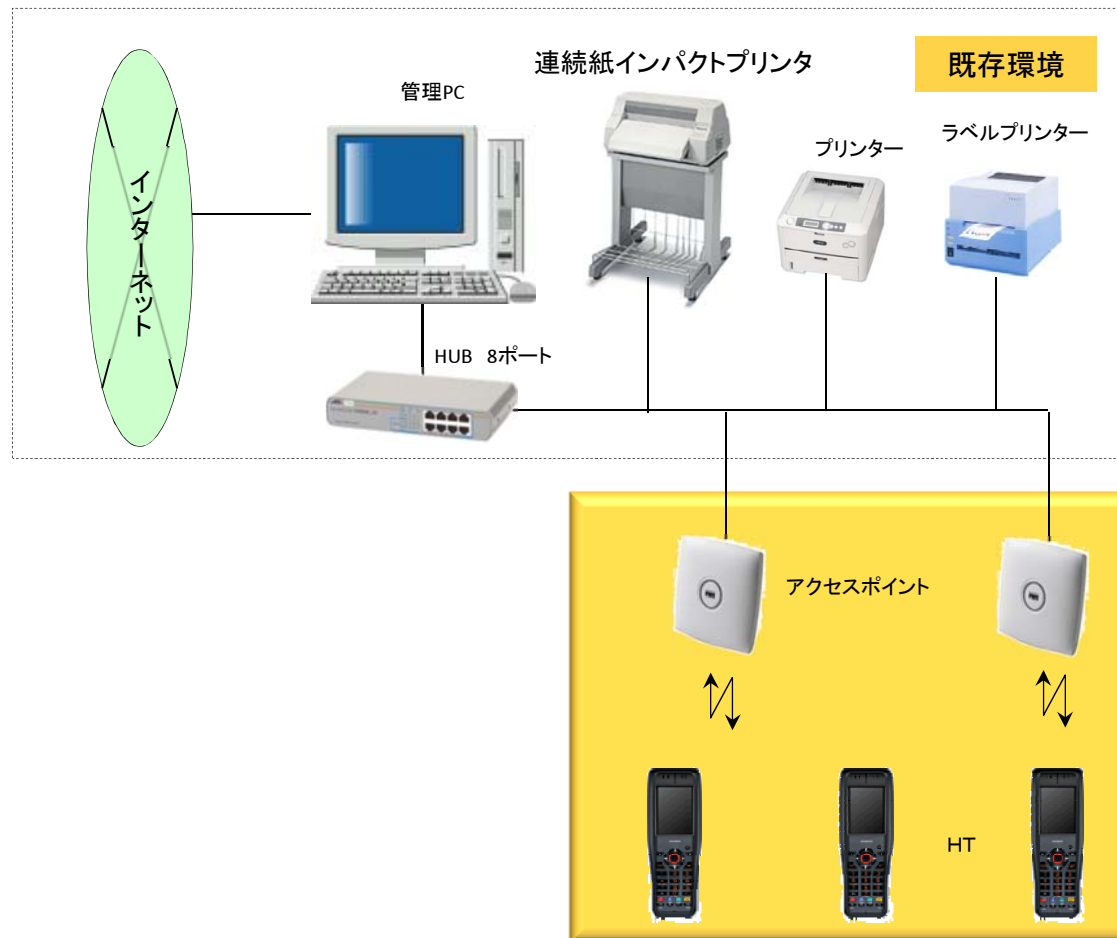
■ 機器構成



- 貴社の仕様を満足するシステムを構築し、データセンターに設置
- 各拠点の在庫管理
- 上位との情報交換

- インターネット環境があれば、各拠点で使用可能となります。
- 各拠点の情報は独立した内容で、拠点間の管理はありません。但し、一元管理も可能です。
- ネットに接続されているPCがあれば新たなPCは必要ありません。

■ 拠点システム構成(例)



- インターネットに接続できる環境が必要
- PCは既存のものを使用する(WindowsXP以上を推奨)
- プリンターも既設のものを使用可能

- 既存の環境にアクセスポイントとHTを設置することで簡単に運用が可能となります。

蔵Pack機能一覧



☆ 機能の概略は以下の通りです。

No.	機能	内容	備考
1	システム管理機能	作業開始・中断・再開・終了の宣言、システム終了	
2	入荷検品機能	TC・DC入荷検品、ロット逆転チェック、ラベル発行	
3	入庫機能	オンライン、オフライン入庫、返品、積増、在庫区分	
4	出庫機能	オンライン、オフライン出庫、問合せ出庫、廃棄、返品、ピッキングリスト、出荷ラベル発行	
5	集約機能	端数出庫、集約入庫、端数出庫リスト	
6	仕分け機能	仕分け、出荷ラベル発行、進捗表示	
7	出荷検品機能	出荷検品、進捗表示、出荷ラベル発行	
8	在庫移動機能	拠点間、倉庫間、ロケーション間、ゾーン間	
9	名義変更機能		PCのみで実施可
10	横移動機能	平場(ゾーン)→棚(ロケーション)、棚→平場	
11	棚卸機能	全棚、範囲指定、カテゴリ別、在庫変動、ピンポイント、在庫差異リスト	
12	問合せ・帳票機能	在庫、棚、長期滞留在庫、補充点割在庫、入出庫実績、ロギング、日報、月報、マスター一覧、作業管理	あいまい検索も可
13	在庫メンテナンス機能	在庫修正、禁止棚登録、出荷止め	
	マスタメンテナンス機能	荷主、商品、入数、GTIN、出荷先、仕入れ先、ゾーン、区分、カテゴリ、業者、グループ、欠品理由	
14	上位連携	ファイル渡し	マスタ、入荷予定、出荷指示、入荷実績、出荷実績、在庫情報、棚卸実績
		オンライン	マスタ、入荷予定、出荷指示、入荷実績、出荷実績、在庫情報、棚卸実績
15	システム環境設定機能	運用方式、先入先出、パレット関連、積付数、混載数、鮮度管理、入荷予定リスト、ピッキング方式、ラベラー使用、上位データ、業者管理、メール送信、データ保有期間、先日付入荷予定、ロット格納	
16	バックアップ・リストア機能	データバックアップ、ラベル発行	

機能の詳細内容はお問合せ下さい。

■ データセンター仕様



■ 制震・耐震・免震構造の設備を持つ

■ 無停電電源装置 (UPS)

UPSを保有し、万が一のバックアップと安定した電力を供給。

■ 非常用ガスタービン式発電設備

停電時瞬時にUPSに切り替わり、1分以内に発電機が起動し、無給油でも約2日間の連続供給が可能

■ 空調設備

空調機を使用し、室温を常に一定となるように管理

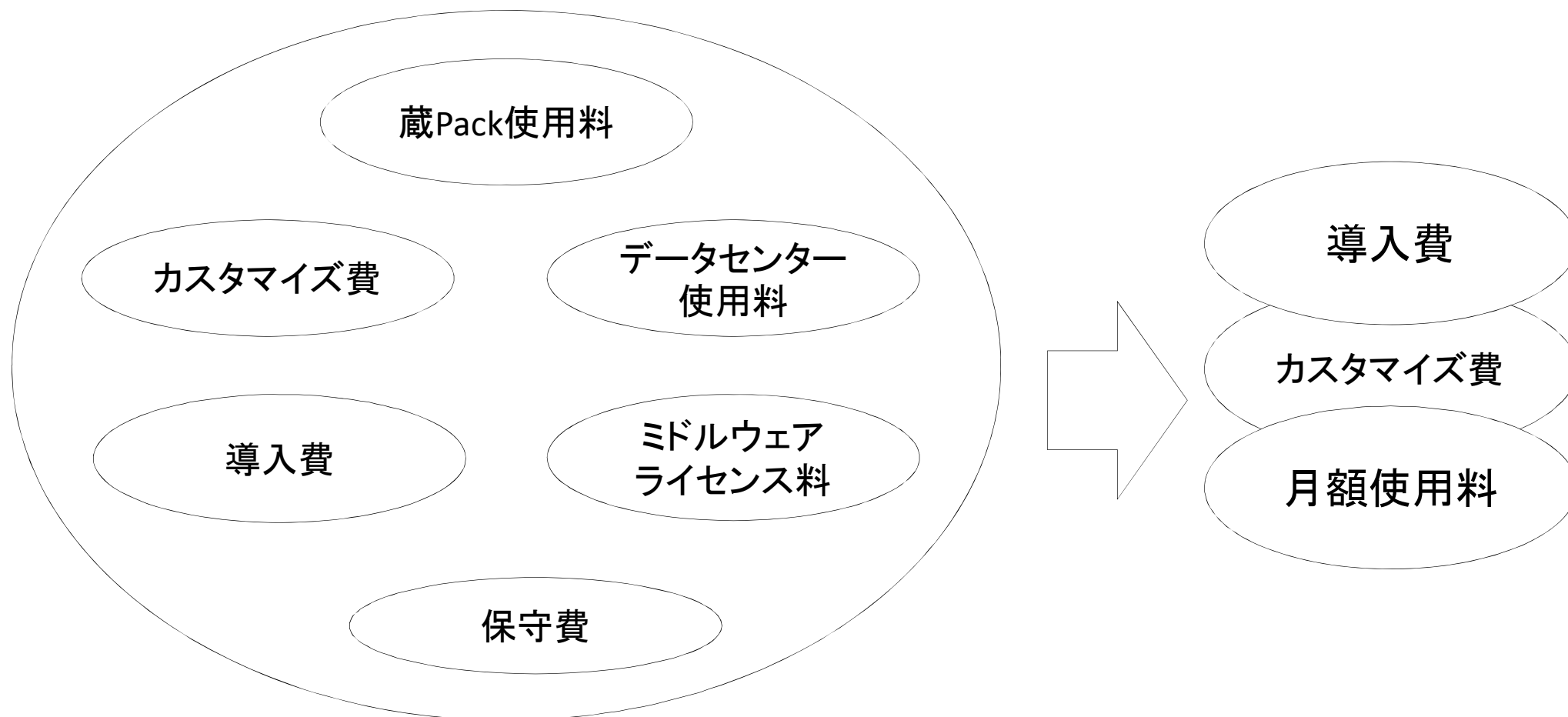
■ 防火・消化設備

防火壁構造・予兆検知システムの採用、新ガスによる消火設備

■ セキュリティ設備

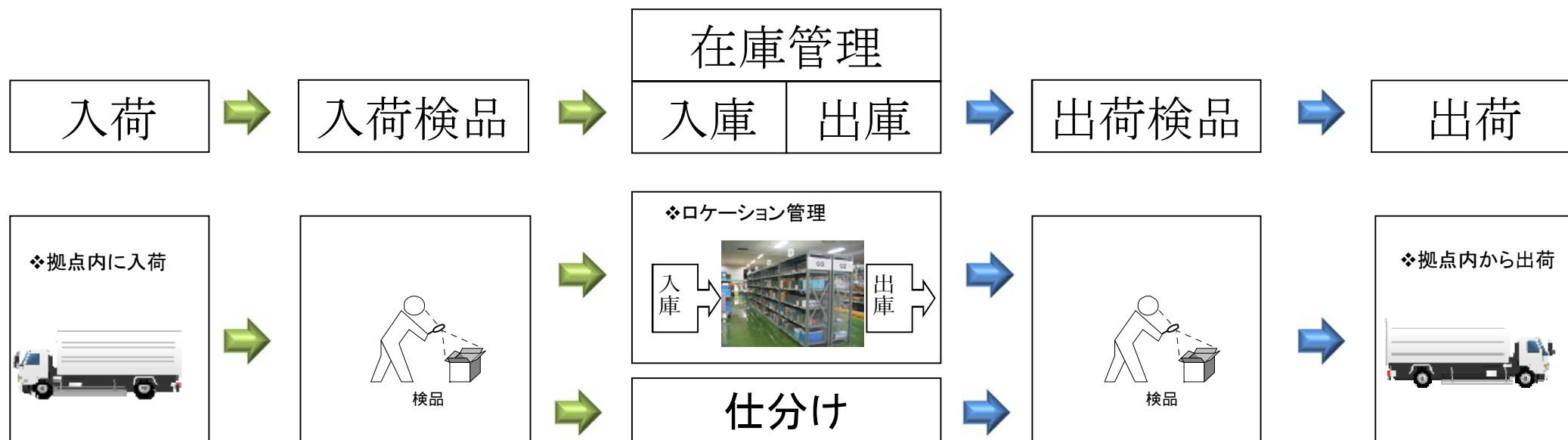
ICカードや生体認証による入退室管理、監視カメラによる24時間365日の監視

■ 費用構成



カスタマイズ費用を月額使用料に含めるか、初期費用とするかを選択出来ます。

■ 拠点内運用イメージ(例)



運用例

- ❖ 基本は、HTによる運用
- ❖ SCMラベルの発行



入荷検品



- ❖ 入荷された商品のバーコードを読み、入荷予定のデータと照合し検品
- ❖ 消費期限・製造日によるバッチの逆転防止

入出庫・在庫



- ❖ 入荷検品された商品をフリーロケーションの棚に格納
- ❖ ピッキングによる出庫。
- ❖ TC品の場合には、仕分

棚卸、出荷検品



- ❖ 棚卸による在庫確認
- ❖ 出荷する商品のバーコードを読み、出荷予定データと照合し、検品

出荷



- ❖ 出荷伝票(SCMラベル)を発行

■ お問い合わせ



株式会社インフォメーションプロセッシングリサーチ

東京都武蔵野市吉祥寺本町1-31-11 KSEビル304

<http://www.ipr-tokyo.co.jp/>

inf-ipr@ipr-tokyo.co.jp

Tel:0422-28-7107

Fax:0422-23-1670